

さんさん、きらきら 47号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和5年10月19日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 寺田 成広

6年生小学校体育大会での光り、輝き

11日(水)第61回長崎市小学校体育大会が、秋晴れの空の下で開催されました。

練習の期日や時間が限られた中で、6年生の子どもたちは意欲的に練習に取り組み、この日を迎えました。本番での子どもたちは、当然緊張しながらも、ここまでの成果を出し切ろうという意気込みが言動に表れていました。また、そのような友達を励ましたい、終了後は心から労いたいとする気持ちも感じられました。競技の結果については、入賞、選外、練習での記録を超えた、越えなかった等様々ですが、子どもたちの姿は、実に清々しく思いました。

6年生にとって個人としても集団としても高まる機会となったこと、かけがえのない思い出づくりができたことは間違いありません。



他の画像はこちら ⇒ <https://onl.sc/XvCrzp9> <https://onl.sc/GDfKjZS>

5年生宿泊学習での光り、輝き

11日(水)～13日(金)5年生は宿泊学習として、日吉自然の家に行ってきました。

豊かな自然環境に恵まれた地で、宿泊を伴う活動を経験することによって、学校では得られない学びや、学校で得た学びの実践をすることがねらいです。

すり身づくりやオリエンテーリング、カレー作り等の活動そのものも貴重であり、かつ班別行動や寝食を共にする集団生活自体も、子どもたちにとって大きな刺激であり、社会性を高める機会になったと思います。感想を子どもたちに尋ねたところ、「楽しかった。」「まだ泊まりたかった。」「また行きたいし、もっといい活動にしたい。」等の学習の充実が分かる声が、多く返ってきました。

最高学年への進級まで半年を切った5年生、今後のますますの成長を大いに期待しているところです。



他の画像はこちら ⇒ <https://onl.sc/bZukXkr> <https://onl.sc/hESTZDz> <https://onl.sc/c8JxniR>

学校保健委員会の参加希望・・・わずか10名

先日案内文書を配付しましたが、11月28日(火)19:00～21:00 三校合同の学校保健委員会を開催します。今回は講師として「活水女子大学 福井謙一郎先生」をお招きします。20日が締め切り日となっていますが、現時点での参加希望が10名です。

福井先生のお話は、以前拝聴したことがあり、親をはじめ子どもに関わる大人は、絶対に聞いておいた方がよい内容だと思っています。強く強く参加をお勧めします。

以下は、前任校で福井先生のお話を保護者の皆様に伝えたく、学校だよりに掲載した文面です。



……………以前、長崎女子短期大学(当時)福井謙一郎先生(心理学)の「児童生徒の諸問題の対応～愛着形成の重要性～」という講話を聞いたことを思い出しました。概要は以下のとおりです。

○乳幼児期から児童期にかけての親との愛着形成のプロセスの中で、「親を求める行動(甘え)」を受容してもらって「しあわせ」を味わうことが、他者への信頼や優しさにつながっていく。(赤ちゃんが授乳時におっぱい・哺乳瓶から突然口を離して親の顔を見るのは、親の反応を求める行動だそうです)

○愛着を深めるのは「時間」ではなく、「質」である。

(忙しい親ほど、質を高める:質を高める3step)

- ① 目を合わせる = 感情のやり取りの練習
- ② 笑顔に必ず答える = 笑顔は心の栄養剤
- ③ 年齢に合わせて子どもを抱く、身体接触、抱きしめる



③に関して先生は、「『抱き癖』という言葉について、この間違った風説が「現代の愛着障害を生み出した元凶である」と言われています。抱くという行為は、人間の最も基本的な愛情表現です。『かわいい!』、『大好き!』などの言葉をかけながら抱きしめてあげることが大切です。嫌がる子もいるかもしれませんが徐々に慣れます。遊びの中での身体接触もいいです。」と付け加えられました。私自身も、我が子を抱くときに、この「抱き癖」という言葉が頭のどこかにあって、子を抱きたい気持ちをセーブすることが必要だと思っていました。もっと早く聞きたかったと思いました。



「もう小学生だし。」「もう体も大きくなったし。」と親が勝手に壁をつくらず、「まだ小学生だし。」「心ももっと大きくなってほしいし。」と抱いてあげてください。学級担任をしている頃、学校で親子活動を行う際に、敢えて身体接触がある運動を取り入れるようにしてきました。高学年の子どもたちも、言葉では「嫌だ。」「したくない。」と言いつつも、その実、顔には隠そうにも隠し切れない喜びがあふれているものでした。……………



私の表現力では、先生のお話のほんの一部しか伝えきれません。

ぜひ学校保健委員会に参加されて、直接先生のお話を聞いていただきたいと思っています。